

豊栄病院ニュース

新年あけまして、おめでとうございます。豊栄病院ニュース令和8年1月号も、宮島の編集で発行させていただきます。今年も、本来世界の平和・発展を考えていただきかなければならない大国の指導者・統治者が自国あるいは自分の欲望を第一に考え・行動し、世界の平和が脅かされています。日本の総理大臣も中国を刺激する発言をし、日本の経済にも影響が出ています。何とか平和で幸せに暮らせる世の中になるようにと切に願っています。

豊栄病院はこの地域のインフラとして、良質な医療の提供を続けていきたいと思います。関 病院長の新年のあいさつを掲載します。



上写真、1月 5 日に行われた関 病院長の病院職員への年頭のあいさつ

「明けましておめでとうございます。昨年は厚生連に限らず医療現場には厳しい話が目白押しで、皆さんにもご心配をおかけしました。人手不足で業務多忙、職員の心身の負担は大きなものが有りましたし、本当は今も続いています。ここまで残ってくれているスタッフは、「自分の仕事が患者さんの命と健康を守ること、この地域に役立っている」という気持ちを支えに踏ん張ってくれているのだと思います。明るいニュースとして、今回、職員の待遇改善にもつながる診療報酬がプラス改定されることが閣議決定されました。一層、病院の健全・安定した運営に努め、皆さんの健康寿命を延ばす視点からの地域活性化を目標に、一方でもっと多くの職員がやりが

令和8年1月号

いと誇りをもてる職場にしていきたいと思っています。これからも豊栄病院は、1)患者さん第一に考えて、2)安全と質の高い医療を心がけ、3)地域の皆さんに信頼され、選ばれる病院として地域貢献を目指します。本年もどうぞよろしくお願ひいたします」

昨年末、病院は、月岡温泉華鳳で“豊栄病院大忘年会”を開催しました。昭和の人間として残念に思えることは、コロナ禍が長く続いたこともあり、若い年代の方々に“飲みにケーション文化”がなくなり、参加者人数が、以前よりかなり減ったことです(当然ながら、参加を強要するなどはハラスメントになり行えません)。そうした中、関院長が率先し、私も加わり余興を行いました。こうしたことで和気あいあいとした職員同士のより一層の関係が構築できることを願います。



写真上左;忘年会開会のあいさつ。

写真上右;余興。映画“国宝”を模して踊りました??

今年の1月12日の20歳の集いに際し、マスコミ報道によれば、東京新宿区は二十歳全体に占める外国人の割合が 49.37% であるそうです。全国で見ても 20 歳代の外国人住民の割合は、9.5% に達しているそうです。今後ますます増加するものと思え、外国の方といかにうまく付き合っていくかが日本の将来に大きくかかわるものと思います。医療・介護の場にも今後外国の方が多く参加してくることでしょう。

発行責任者・文責;豊栄病院広報係 宮島 透

豊栄病院 (代表)

TEL 025-386-2311

FAX 025-386-2370

豊栄病院 患者総合支援センター TEL 025-386-2801 (直通)、FAX 025-386-2784